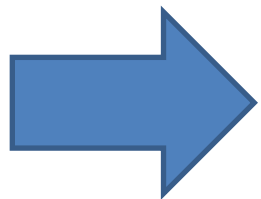


# 新たな画期的な連携大学院制度を開始

国立がん研究センターと

「慶應義塾大学医学部・慶應義塾大学大学院医学研究科」、  
「順天堂大学大学院」が連携協力に合意

- ＜連携大学院制度＞ レジデントなど国立がん研究センターの職員が
- ◆ 国立がん研究センターに正式な籍を置きながら、
  - ◆ 国立がん研究センター内で大学院の授業科目の単位が修得可能
  - ◆ 国立がん研究センターで行った研究の成果で学位の取得が可能

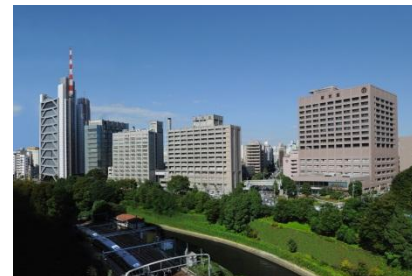


- ◆ 幅広い知見とリサーチマインドを持った臨床医の育成
- ◆ がんの研究分野の発展への貢献
- ◆ 層の厚いがん医療の推進



慶應義塾大学

平成24年度  
慶應義塾大学大学院  
医学研究科に7名が進学

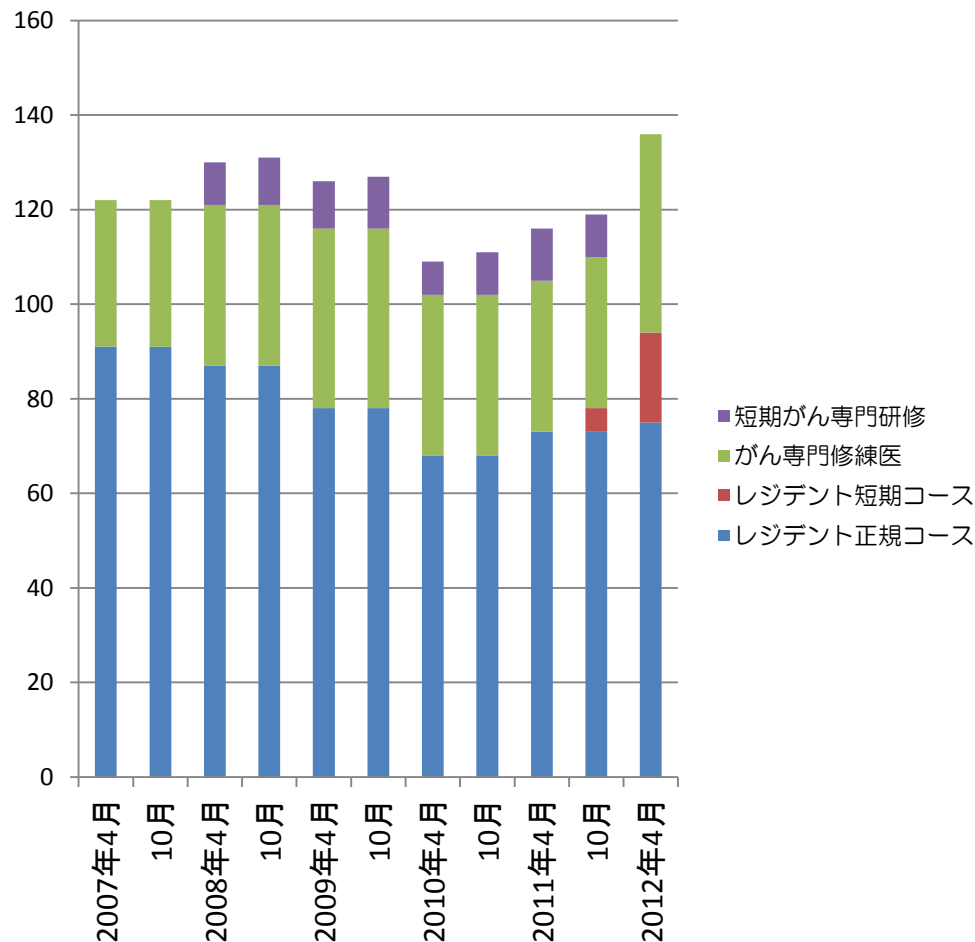


順天堂大学

平成24年度  
順天堂大学大学院  
医学研究科に23名が進学

# レジデント短期コース（3ヵ月～2年，開始時期自由）設置

各臓器腫瘍について幅広い知識・技術を持つ腫瘍専門医養成を目的とするレジデント制度の中で、若手医師のニーズに対応した多様な研修システム構築の一環として2011年10月、研修期間・診療科・開始時期を自由に選択できるコースを新設



レジデント短期コース（新規レジデントコース）

コース	3ヵ月～2年
単科	単科専攻コース
少数科	希望科ローテーション

レジデント正規コース（従来のレジデント研修コース）

コース	第1年次	第2年次	第3年次
内科	前期ローテーション		後期ローテーション
内科系			
緩和・精神			
外科			専攻コース
外科系			
診断			
外科病理	病理科・臨床検査科		

# 民間企業とのがん情報の普及啓発等に関する 包括的連携に関する協定書の締結



NKSJひまわり生命

情報センター発行の媒体に協力企業が自社ロゴを追加した版を20,000部作成し、配布。



AstraZeneca

NCCが監修、名義・ロゴ使用を許可したポスターを協力企業が9,000部作成し、配布。

- 国立がん研究センターとしてメリット
1. 外部資金で普及啓発媒体の作成・配布を実施
  2. 従来、届けられなかった対象に到達可能
  3. 監修料・著作物利用料・名義使用料などの獲得

生薬設計ジャーナル

「がんの時代」を生きる

第一生命の国立がん研究センターは、平成24年1月にがんの脅威に勝つための包括的連携協定を締結しました。第一生命は、がんの予防・早期発見・治療・緩和ケア・生活支援に関する最新の情報を、雑誌、ウェブサイト、生活支援アドバイザーを通じて、がん患者さんやご家族の方に届けてまいります。

がんの怖さは知るからこそ、正しい情報が何よりも必要

国立がん研究センターは、がんの予防・早期発見・治療・緩和ケア・生活支援に関する最新の情報を、雑誌、ウェブサイト、生活支援アドバイザーを通じて、がん患者さんやご家族の方に届けてまいります。

「がんの時代」に知っておきたい「がんの情報」

「がん」という言葉について

「がん」になったら

がんの予防・早期発見のために

がん相談支援センター

いちばん、人を考える会社になる。

第一生命

NCCが監修、名義・ロゴ使用を許可したちらしを協力企業が200,000部作成し、配布。

# 「拠点病院院内がん登録全国集計報告書」の公表

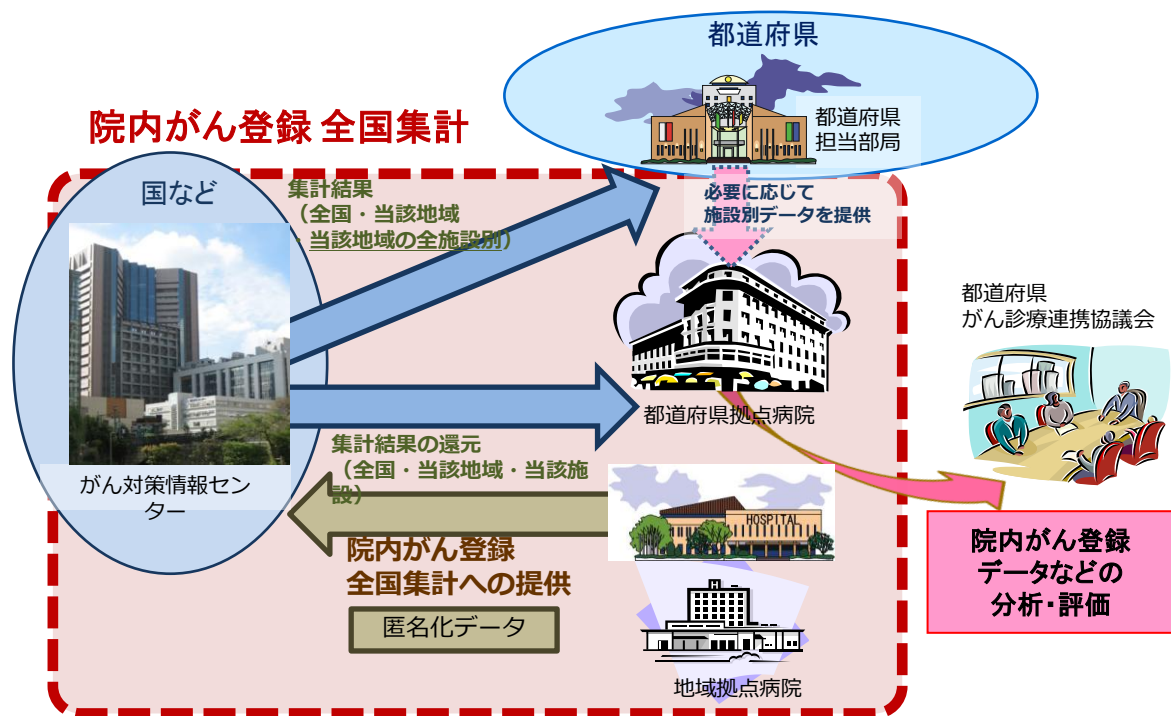
- 2008年集計（359施設、428,196件）

2011年6月公表

初めての個々の施設名を含めた公表

- 2009年集計（370施設、487,441件）

2012年3月公表



## 施設名を含めた公表

- 比較を通じて、データ精度評価 → 精度の改善
- 施設の診療実態の把握 → 診療見直しの契機に
- がん対策に資する情報として活用 → がん対策の情報基盤

# マヒドン大学ラマティボディ病院(タイ国)との 覚書締結 (平成23年8月11日)

## マヒドン大学

- ・タイで最も古い病院(シリラート病院)に設立起源(1888年)
- ・1942年に大学となり、国王の名前をとりマヒドン大学となる
- ・タイで1,2を争う医学系大学

## ラマティボディ病院

- ・マヒドン大学の付属病院のひとつ
- ・5,000人外来/1日、1,000床
- ・2007年には腎臓移植が1,000例を超す
- ・サイバーナイフを東南アジアでいち早く取り入れる



## ○経緯

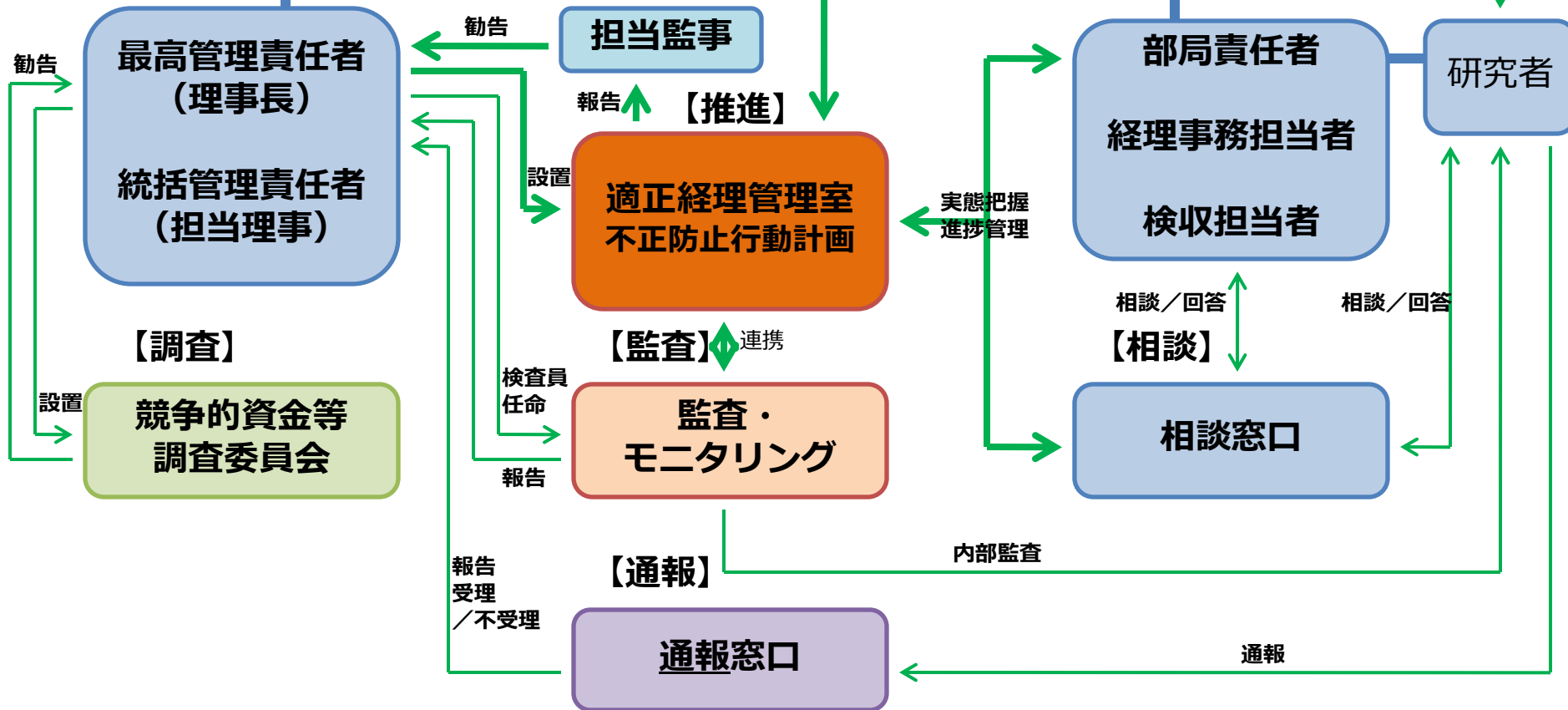
学校法人順天堂とマヒドン大学が覚書を締結しているところ、がん分野の取り組みを強化するため当センターが新たに参画したもの

## ○目的

合同カンファレンスや人事交流を通し、ネットワークを広げることで両国の医学研究・医療技術の向上を目指す

# 適正経理管理室の設置による研究費の不正使用防止の推進（H23.10.1改訂）

【管理・運営】



## <研究費の不正防止推進体制のポイント>

### ① 適正経理管理室の設置

- ・業務： 不正の要因分析、不正防止の行動計画策定、進捗管理
- ・構成： 統括管理責任者、最高管理責任者が指名する者、事務部門の部課長
- ・ガバナンス： 適正経理管理室から監事へ報告し、監事は必要な勧告を行う

### ② 対象研究費の範囲を「競争的資金等」に拡大（受託研究費や共同研究費なども含む）

スケジュール： H23.10.1～不正防止計画の策定作業、H24.4.1～不正防止計画の実施